

令和3年度老人保健健康増進等事業

介護事業経営実態（概況）調査の調査精度向上のための調査・集計方法等に関する 調査研究事業

エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

介護事業経営実態（概況）調査は、介護報酬改定に係る基礎的な資料となる重要な調査であるが、令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、「より正確な経営実態等の把握に向けて、各介護サービス事業者に調査への協力を求めることを含め、有効回答率の向上を図り、統計の調査精度を高めていくための、より適切な実態把握のための方策を、引き続き検討していくべき」とされたところである。

そこで、本事業では、介護事業所・施設に対するアンケート調査等を通じて、介護事業経営実態（概況）調査の調査精度向上のための調査・集計方法等について検討した。具体的な事業内容は以下のとおりである。

1. 介護事業経営実態（概況）調査の調査項目に関する検討

現下の介護事業所・施設の経営実態の精緻な把握に資する決算関連情報やそれらの管理状況等を定量的に把握し、調査精度向上のための調査・集計方法等を検討することを目的として、介護事業所・施設を対象に以下の調査を実施した。

① 新型コロナウイルス感染症の介護サービス事業所の経営への影響に関する調査

今般の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う、介護事業所・施設における費用面への影響や今後の経営への影響の見通しの傾向等を把握するため、介護事業所・施設を対象としたアンケート調査を実施した。

② 介護サービス事業所の特別損益に関する調査

財政制度分科会において、介護事業経営実態調査における収支差率について、「特別損失である「事業所から本部への繰入」は反映されている一方で、調査票段階では調査している特別利益が反映されていない」とされたことから、現下の介護事業所・施設における特別損益の状況について調査した。

2. 介護事業経営実態（概況）調査の調査精度向上に関する検討

令和4年度介護事業経営概況調査の実施に向け、調査精度向上のための調査・集計方法等について検討した。検討にあたっては、有識者による検討委員会の助言も得つつ、主として、調査環境の改善を通じた介護事業所・施設の記入者負担の軽減、調査精度向上に向けた標本の抽出方法や抽出率といった標本設計等の2つの論点に沿って、問題の所在や対応策、今後の課題等について整理し、報告書を取りまとめた。